

東京薬科大学新聞

発行所 東京薬科大学 新聞会
責任者 原 太志

号外

薬味



ようやく嵐のような受験シーズンも終わりました。皆さんの中には、どうしてこんなことを勉強しなきゃならないのか、と思ったことのある人もいるでしょう。◆例えば、高校時代に習った微積分や古典に物理。それから、これでもかと言わんばかりの多くの英語に、重箱の隅を楊枝でほじくるような歴史の内容などなど。試験のためだとはいえず、小学校の算数ならともかく、これらが自分の人生に何の役に立つのか、と気になって眠れない夜もあったことと思います。特に受験勉強をしている時は、そのようなことを強く感じたはずです。◆でもそれは単なる個人的な好みも関係しているでしょう。確かにこの大学に通っている人が高校時代に歴史や古典を勉強していたとしても、講義においてはあまり意味が無いかもしれません。これは大学の選択科目についても同じようなことが言えます。◆この大学でも法学や哲学のような多様な選択科目の履修をしなくてはなりません。◆なぜでしょう。それは、薬学や生命科学といった狭い範囲の視野に捕われずに、より広い見識を持つていてほしいという狙いがあるのです。これは本校だけでなく、全国の大学でも言えることです。そう考えてみれば、今までの底で渦巻いていた疑問もだんだんと消えていくでしょう。◆もしこのことをもっと早くから知っていたら、勉強の意欲も効率も上がっていったに違いありません。決して今からでも遅くはないと思います。たかが選択科目とは思わず、薬科大に通っているのですから自分の視野を広げるいい薬だと思って、積極的に勉強に取り組んでいこうではありませんか。(鬼)

ろが会社は彼を解雇する。自分の理想を実現するためにジェリーは新しい会社を設立する。独立したジェリーについてきたのは、女性事務員ドロシーと無名のアメフト選手ロッドだけであった。今までは百八十度違った生活に戸惑

ザ・エージェント

う中、失恋や信頼していた人の裏切りに落ち込むジェリーだが、愛の大切さを教えるドロシーと、無二の親友となったロッドによって次第に立ち直っていく。

本作で注目してもらいたいのは、出演者の演技の奥深さ

である。トム・クルーズは多くの作品で高い評価を受けているが、本作でも期待に充分にこたえてくれた。ロッド役を演じたキューバ・グッディングJr. は本作で今年のアカデミー最優秀助演男優賞を受賞した。またトム・クルーズ自身

身がヒロインとして選んだ、ドロシー役のレニー・ゼルウィガーは、実力派の新人女優であるとの声

が高い。このように、多様なキャストで作りに上げられた本作は、アメリカで大ヒットを記録し、日本でも人気を集めている。七月上旬まで上映される予定なので一度映画館に足を運んでみてはいかがだろうか。

ところで夫婦が別姓にするのならば子供の姓はどうなるであろうか。出産時に両親の協議で決定する方法などの案が出されているが、先の委員会では婚姻時に両親の協議で決定するという案を支持している。しかし、子供の意思がまだはっきりしない時に姓が決定され、子供は納得できるのだろうか。最も大切なのは子供が自分の姓に納得することであろう。そこで

得ずることであろう。そこで、子供が一定の年齢に達した際に姓を遷はせる機会を与えてみてはどうだろうか。子供の姓についての議論はまだ足りないように思える。どうするのが最も良い方法か皆さんにも考えてほしい。(天野)

夫婦別姓

最近、夫婦別姓の考えを支持する人が増加している中、これらの問題を解決するにはやはり民法の改正が必要であろう。すなわち別姓・同姓どちらでも選択できるようにする案である。諮問機関の審議会でもこの案を中心に法改正の審議を進めている。

現在の民法では「婚姻の際に定めるところに従い夫または妻の氏を称する」と定められ、夫婦別姓は認められてはいない。従って、夫婦は同姓とならなければならぬ。

しかし、それに対する数々の批判が出てきている。一つ目には九十七。五%は妻が改姓しているという現状が男女不平等ではないかという点である。日

本において妻は夫の家の姓であるという慣習がいまだに根強く残っている。夫婦同姓はこれを助長する恐れがあるだろう。二つ目には夫婦の一方に改姓を強制することは氏名権の侵害であり、改姓する側が社会的不利・不便を被るといふ点

が、改姓する側が社会的不利・不便を被るといふ点

が、改姓する側が社会的不利・不便を被るといふ点

が、改姓する側が社会的不利・不便を被るといふ点

が、改姓する側が社会的不利・不便を被るといふ点

が、改姓する側が社会的不利・不便を被るといふ点